

診療の補助技術 浣腸①

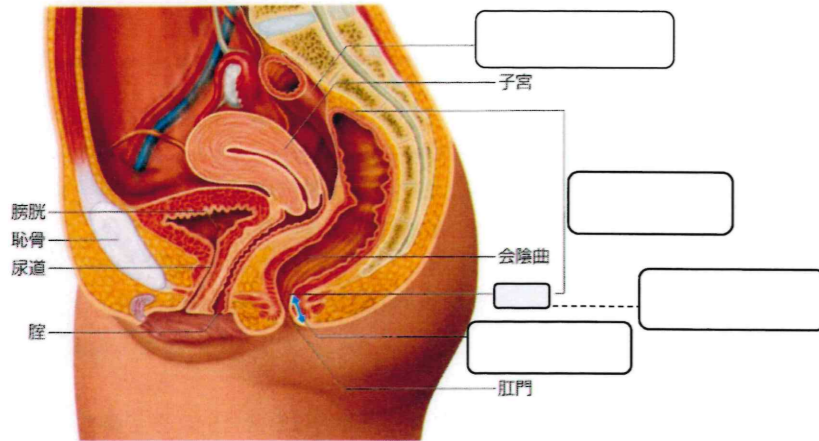
学習目標:①浣腸を必要とする患者の身体的、精神的苦痛を理解し、患者の羞恥心や緊張感に配慮した説明や援助の方法を学ぶ

②浣腸が患者の身体に及ぼす影響や危険性を学び、安全な技術を習得する

手術前処置のグリセリン浣腸をする際、患者さんが「足が悪い間に合わない」と困るという理由でトイレでの施行を希望された。

LearningBOX『 ▶ 都さんの浣腸①』→ LearningBOX『浣腸:こんな時どうする?』

ワーク①
浣腸の際の体位について調べましょう
調べたら LearningBOX の問に答えなさい。



★浣腸実施時の体位は、原則()とする。
腸の走行を考えると、下行結腸から直腸は体の()に位置するため、この体位にすることで浣腸液が流入しやすくなる。
また()の確認が容易であること、患者の()の緊張が解けること、患者の()が安定することから、カテーテル挿入に伴う()を予防できる。

LearningBOX「浣腸の体位:チャレンジ問題」へ

LearningBOX『グリセリン浣腸による医療事故』へ

ワーク③ 浣腸における原則と根拠をまとめよう

原則	理由・根拠
体位	
カテーテル挿入の長さ	
浣腸液の温度	
注入速度	

LearningBOX「浣腸の原則」へ

DVD 視聴「浣腸の手順」へ

浣腸の実際をみて以下の点についての理由を調べよう

①なぜカテーテル内の空気を抜いたのでしょうか

②カテーテル挿入の際に口呼吸を促したのはなぜでしょう

③グリセリン注入後、排便を我慢するのはなぜでしょう

LearningBOX「浣腸の手順:チャレンジ問題」へ

理由:

LearningBOX「 ▶ 都さんの浣腸②」へ

LearningBOX「トイレの選択」へ

LearningBOX「 ▶ 都さんの浣腸③」へ

LearningBOX「排泄の見守り」へ

浣腸の禁忌患者について調べよう

都さんの浣腸①「足が悪い間に合わない」という理由でトイレでの施行を希望された場合、どのような説明や声掛けをしたらよいでしょう

都さんの浣腸③の場合、安全に排便ができるよう、どのような対応をしたらよいでしょう。